

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2022年4月1日

事業所名 いんくるーじょん東淀川事業所

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			指導訓練室は特にないが、個室が必要な場合は相談室を使用することでまかなえている。
	2	職員の配置数は適切である	6			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	1	集中する時間が必要な時は環境を整え、スケジュールは図や絵を使用し視覚的にわかりやすくしている。	段差が1箇所あるが、職員が付き添うことで問題はない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	1	防虫対策・おもちゃの消毒を行っている。	コロナ禍において主に机・おもちゃ・空気洗浄は毎日行う。フロアは広く取って自由に遊べる環境作りを行う。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	朝礼で前日の振り返りを行っている。	意見が出にくいこともあるので、会議の進め方の勉強、話しやすい雰囲気作りを行い、業務改善に取り組む。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1		自己評価において疑問に思われていることについてフィードバック出来ていなかったため、内容を検討し手紙や面談の際にお伝えしていく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	2		ホームページにて公開はしている。会報ではお知らせ出来ていなかったため、ほかの方法で親御さんにも周知出来るようにしていく。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3		現在は第三者評価は行っていないが、今後は検討している。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	3		機会は少ないが、確保はしている。研修の情報(手紙・FAX・メール)を管理者が把握し職員に情報提供していく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	1		アセスメントに不足部分がないか見直しの必要があるため、計画書の確認や情報の周知を行う。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2		市のアセスメント様式を使用している。内容が不足していないかの確認が出来ていないので、その確認や情報の周知を行う。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	2		必要な事項は網羅されている。担当者会議でも意見が出にくいことがある。会議の進め方と意見の出しやすい雰囲気作りを行う。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5			日々の情報を共有し、さらに支援がスムーズに行えるようにしていく。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			担当者で検討した内容を全体で再検討している。意見が出にくい場合もあり、会議の進め方を学び話しやすい雰囲気作りを行う。
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			担当者で月1回の振り返り全体での会議でもプログラムについて内容を見直しをしている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	3	3		現在利用が個人になっている為、個別活動が主になっている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1	毎朝、朝礼を実施している。	朝礼時にその日の流れ・予測される動きを確認し支援に当たっている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1		その日の振り返りは記録にて情報共有している。(送迎で職員全員が揃わない為)翌日朝礼時にも振り返りを行う。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1	定期的に検証している。	検証の頻度を見直し、よりよい支援につなげていく。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		定期的に行っている。	特別なことがあった際は、その時々で内容を見直すことも検討する。
関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1	サービス担当者会議が開催されれば、管理者、職員が出席している。	なかなかサービス担当者会議が開催されないことも多いので、必要があればこちらからも提案していく。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	1	営業の時を含め関係機関と連携できている。	今後はさらに関係者や関係機関と連携していく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			現在対象児はいない	現在は対象者はいないが、今後受け入れる際は、関係機関と連携していく。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			現在対象児はいない	現在は対象者はいないが、今後受け入れる際は、関係機関と連携していく。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	2	特に何かあれば、共有している。	積極的に送迎時などに情報共有を行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	3	小学校とは少ないが、特別支援級とはとれている。	今後は小学校も含めて情報共有を行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	4	少しずつ助言や研修を受けている。	今後はさらに外部研修の機会を設けていく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	5	現在は機会を設けていない。	現在は機会を設けていないが、今後実施していく予定。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	4	コロナ禍までは参加していた。	今後も積極的に参加していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		なかなか直接お会いできないことも多い。	直接お会いできない保護者様には、SNSや電話などで状況を伝えていく。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		5	現在は行っていない。	現在は行っていないが、今後は行っていく予定。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	丁寧な説明を心がけている。	今後はより丁寧に説明できるようにしていく。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	1	説明を行い同意を得ている。	全職員で共有を行い、よりよい支援につなげていく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		相談に応じ、助言や支援を行っている。	今後は保護者からの相談にさらに適切に対応していく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6	現在はしていない。	現在はしていないが、今後は開催を検討している。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1	迅速かつ適切に対応している。	今後はより迅速かつ適切に対応できるようにしていく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		通信によって行っている。	今後はSNSなどを活用し、さらに積極的に発信していく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5		注意している。	保管場所の検討も含め、さらに注意していく。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		ホワイトボードや絵カードなどで配慮を行っている。	今後はさらに様々なツールで意思疎通や情報伝達の配慮を行っていく。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6	コロナ禍前は行っていた。	コロナ収束後に積極的に開催していく。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	1	現在マニュアルを作成している。	作成したマニュアルを、職員や保護者に周知していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		半年に1度、行っている。	今後はさらに様々な災害を想定した訓練を行っていく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		アセスメントにて確認している。	改めて状況を確認し、変更があればすぐに共有していく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1	アセスメントにて確認している。	さらに保護者と密に連絡を取り合い、対応していく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	3	ヒヤリハット報告書にて共有している。	定期的に見直しを行い、再発防止を心がけていく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		研修を行い、職員全体で共有している。	定期的に見直しを行い、常に意識をしていく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	1	契約時に説明を行っている。	定期的に見直しを行い、常に意識をしていく。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。